で水俣のことを聞き、飛んでき 既で若干知ってはいたが、東京

界の公省に反対し、公古対策に

取り組まねばならないというシ

かっても、それで起こる視野狭 病でも水銀中港であるととはわ されていないと聞いたが、水俣

であるように、水俣粉風岩は世 爆に反対し平和を守るシンボル

なった人の強いがまだ町らかに

ん水俣柄のととは、向ころの新

リストの目に、水俣树間類はどろ映ったか。木社では十 的に環境が基が問題になっているとき、この大ジャーナ が、水俣将取材のため十一、十二個日相木を訪れた。世界 ジャーナリスト、ウイルフレッド・バーチェット氏(なり) 中国、北ベトナムなどアジア問題にくわしい国際的な

衆がイデオロギーを越えて、この問題と取り担むよう訴 ーモア・広島からノーモア・水俣へ」と強調、世界の民 題について、その意見を聞いたが、この中で同氏は「ノ 二日夜、取材を終えた同氏に対して、世界の環境汚染間

福田熊日編集局長

聞き手

るべき公貨だが、どういうきっ 十四人、死若四十八人という必 質病の第一号であり、腹岩直三 水俣病は日本における公かけで、この問題に関心を持っ 悲惨さに胸打たれる パ氏 環境汚染の問題は比較 的新しい問題であり、どちらか 界各四を見てもそうだが、日 木はどドラマチックな形で出て といえば、ふいに出てきた。世

た。とんどの日本訪問は公舎間 笑は、私は東京に二週世階在し の企業にしぼられてはいない。 としており、水俁のように一つ 間の行場があり、サンフランシ でももちろん、大気光気や川や いるところは他にはない。欧米 題が目的ではなかったが、た モッグ警報が出て、なるべく外 ているうち、三日間は光化学ス っているが、発生観がほくぜん スコでもスモッグが問題にな へ出るなといわれ、ぴっくりし

> 姿に心を打たれた。非常にこわ い現実だ。やはりコントロール りにかかった人で、その悲俗な 性、一人は三歳のとき発病した の患者を見舞った。一人は胎児 人、もろ一人は二十歳の働き盛 などがあったし、企業に人間な

手な行動がもたらしたものだと がよく出来ていない企業の、瞬 ちに水銀を流すのをやめておれ 俣病が発生したとき、企業が直 重の精神が薄かったことが、長 大原因だと思っている。 補償金より、責任。 パ氏 その通りだと思う。水

り、企業の秘密性や行政の遠慮 年になるが、これまで制定され 問題が多い。それというのも、 る。不全型、マスクされた水俣 た厳者は氷山の一角だといわれ 所、不顕性の問題など隠された 水俣では企業と町が一体であ 水俣病が発見されて十五 つの企業がどろすれば一般社会 関係しているかを調べることに が、特定の湖や川の汚染とどろ に責任をとれるか、特定の企業 捜して、補償金を出すことでは 力を入れている。問題は患者を 、根末のことうで質任を追及し、 なく、問題が起きたとき、すぐ 質任をとらせることが基本だ。 ――チッソが水俣湾に流した ように内から出てくる問題は、 していかねばならない。公害の 根本的には社会の組織のすべて でむずかしい。アメリカでもな を問題にしなければならないの

人が社会全体の組織まで問題に は問題はうるさいが、アメリカ するところ法ではいっていない ――四年前、ロンドンのテム

水処理などに手を抜いてきた証 ため、生産だけに力を入れ、排 日本では経済が急激に成長した 水銀は六十七以上といわれる。 が、投近のニュースでは魚が見 ズ川は魚も住まない状態だった

か 拠だと思う。欧米の企業はどろ ようだ。 因とも環境汚染に注目してきた られるようになったという。各 が、どろいろ方法で浄化したか パ氏 私もそれは新聞で見た

思う。水俣の人といろいろ語をは、こんな大きな公寓にはなら

への警告水

強い。ときには人間以上に動物

性の持ち主で、動物への感情が 思う。イギリス人は面白い国民 題として取り組んでいるのだと は知らない。たぶん、内全体の間

企業はもっと社会に責任とれ

汚染防止で国際会議を

れたというのが本当だ。もちろ またまぶつかり、関心をそそら の悲惨な状態を見てどろ感じたで、あきらかに放射能によっ であることが、わかり、それ以 アップされてきた。現地で患者(気がついたのは、たとえば広路(もう一つの工場でも水銀を流し 後、公告の問題としてクローズ パ氏 広島の原爆犠牲者が原 を高く評価していた。ただ私が したが、多くの人が顔大の研究なかっただろう。十一日水俣的 人と、そうでなくて同じ病気に て、それが原因で哲気になった 裁判を傍聴したが、そのさい、 ていたととが限されていたとと がわかって驚いた。企業は株主

に対する責任だけでなく、社会 すべきだと思う。このことは、 (公共)への責任をもっと自覚 対策に全機能を

> れば、大変な世論の騒ぎになっ もしとれがイギリスで起きてい られたのはネコだったからだ。 かといえば、水俣では漿初にや る。なぜ私がこんなことを買う ととになると、関心を集中す 魚、これらが死んでいくという を大切にする。大、鳥、キツネ、

むしろ工業後週国だったが、公 国のモラルの問題もあるのだろ 宮では先進国? だ。これは国 ――日本は欧米に比べれば、

狭さくとどう違うのか、というではアメリカが一番公省問題と・で、またまだ対策は不十分だ。 の環境にどろ対応していくかとでも、外敵には目を向けるが、 とりもなおさず、人間がまわり ろから襲いかかってきた。欧米 真剣に取り担んでいる。一つ一とう対応するかをみんなで研究 いう問題である。いま欧米諸国 公事は内部の問題だというとと いるうちに、公当問題が突然後 核兵器のととでいろいろ願いで いといった中和した状態(核の いま一番大きな問題は公姓だ。 抑止方)がある。だとすれば、 双方が持っているために使えな パ氏 核兵器の場合は現在、

とき、イギリスでも子供がドレ し、モラルの問題というより、資 イのように使われたととがある 、あるとは思わない。産業革命の い。公害問題で、人種的な登が パ氏 私にはよくわからな

語るパーチェット氏(早前は福田綱集局長)

された当時は奇粉とされていた

界への数台だと思う。私は三人 の警告だったように、水俣も世

研究がまだ足りないと思った。

ンポルだと思う。広島が世界へさくが、他の原因で起こる視野

た 超きてい に市外に、 はない。 るということで、欧米では全然 ととを関している患者がまだい みんな同じだと思う。 ものが、 力w 導していた。 さい工場を持ってとないよう指 では緑化運動が盛んで、 ワに行ったとき、煙を出すて 行っていないのでよくわからな 考えられないことだ。 われはしないかと、 で感じたのは、 本主義の中の企業の立場という 活躍。とくに太平洋戦争中、中モニター」などの特派員として 断したハイエルダール博士らが 衛星都市をいくつも作り、 が問題となっていた。モスクワ いが、六三年と六五年にモスク 国における抗日戦争を取材して つにしていたし、 「クリスチャン・サイエンス・ 日本の役割に期待 との都市では工場は微調的 すべての肉の違いはなく、 V 年オーストラリア U, は環境汚染 七〇年代の人類の様大の 共産国での公当問題はど ない。 苗のままの青空が見え もうけに頂きを扱くと ラ しかも集中しないよ パーチェット氏 ドン・タイム 北京ではまだ公告 - 号で大西洋を板 東ヨーロッパに 金のためだと思 上海を会は 研究である 公路の問題 ただ水俣 団に 生 いつ 協 意 5 さい。 者やジャー めの世界会議を提案してはどろ というが、 としては初めて報道、「ノーモ励の懸憶な原爆被客を外人記者 話をしたいと思う。 が用かれれば、 開かれるべきだ。もし国際会議 水俣紡についても、 とは恐ろしいことだ。これから が自分たちの環境を破壊すると る水艇が発見されている。 定された。アメリカでも魚によ とがある。とこではベトナム戦 するシンポジウムに出席したこ はさらに迫いつめられている。 にまたがる二十六年の間に人 地球的な問題だ。公共防止のた すお元気で健康をふるってくだ りがとうございました。 水俣汚問題を伝え、 も帰国後、日本の公告、 大きな質敵が出来るだろう。 上げられ、世界的な公式だと断 争で使っている化学兵器が取り パリで関かれた化学兵器に関 大西洋で廃油のかたまりを見た 今度は二十六年ぶりの来日。 命ぜられたエピソードは有名 影 広島」を打造したことか ・技時間のインタビュー 国際的な会議がどしどし 一七度製の北」 のはHQに肉外退大を 海洋汚染はいまや ナリストといろいろ 日本の科学者は 広島から水俣 公客につい 多くの科学 一ふたた とくに ますま

いらい、

北ベトナムなどアジアの共い、三十年間、中国、北朝

を自由に取材出来る唯一の西側 び別鮮で」などがあり、

西風路国の助向を紹介する記事

+

ナリストとして、

すぐれ

で知られてきた。との四、五月

はパリに住んでいる。

飛行」を答せた。終戦直後、

には相日に

「北京報告」